

## たきかわ環境フォーラム「エコカフェ 2010」のご案内

たきかわ環境フォーラム代表 平田剛士  
事務局長 越後弘  
073-0034 滝川市空知町 2-6-31 滝川市森のかがく活動センター内  
電話／ファクス 0125-24-2447 (越後)  
<http://ecoup.hp.infoseek.co.jp/index.html>

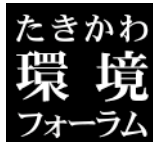
拝啓 時下ますますご清栄のこととお慶び申し上げます。ひごろよりたきかわ環境フォーラムの活動にご理解とご支援をいただき、たいへんありがとうございます。

今年2回目の「エコカフェ」を下記要領で開催いたします。

つきましては、ひとりでも多くの方に関心をお寄せいただきたく、事前告知と当日の取材・報道をお願い申し上げます。

**第2回エコカフェ「サケ稚魚放流を考える」**

日時	2010年5月29日(土曜)午後1時半～
会場	滝川市森のかがく活動センター(滝川市空知町2-6-31)
講師	有賀望(札幌市豊平川さけ科学館)
入場料	無料(いれたての「季節のブレンドコーヒー」や紅茶=各100円を用意しています。マイカップをご持参下さい)
お申し込み	不要
お問い合わせ	電話／ファクス 0125-24-2447(越後)
主催	たきかわ環境フォーラム
URL	<a href="http://ecoup.hp.infoseek.co.jp/index.html">http://ecoup.hp.infoseek.co.jp/index.html</a>

**内容紹介**

空知地方を貫いて流れ下る石狩川は、つい100年前まで世界有数のサケ繁殖地でした。いっぽう、滝川で分岐する支流の空知川は、どうやらサケの生息には適していなかったようで、遡上の記録がありません。同じ水系に属していても、それぞれの環境に合わせて、独自の生態系が発達していたのでしょう。地域の川の自然生態系をこれから復元しようとするとき、どんな視点が大切なのか。同じ石狩川水系の豊平川を舞台に環境教育に携わっている有賀望さんを講師に迎え、川魚たちとのつきあい方を考えます。

**有賀望(あるが・のぞみ)**

1973年生まれ、東京都出身。大学では長野県上高地で河畔林の形成過程について研究し、「もっと自然が残っているフィールド」を求めて北海道に来て、ケシヨウヤナギを含む河畔林の形成と河川地形との関係について研究した。北海道大学大学院農学研究科修了後、学芸員を志望し、札幌市豊平川さけ科学館に就職。現在は、サケの自然産卵について調査しながら、札幌の水辺の生き物について環境教育をおこなっている。